

『心豊かで活力に満ちた生徒の育成』



佐世保市立日野中学校

校長 前田 英穂

生徒数 413名 学級数13

所在地 佐世保市日野町2079番地

1 校訓

『愛』

- ◎『すべての人を愛する』
- ◎『自分から先に愛する』
- ◎『相手を自分のように愛する』
- ◎『相手と自分を一つに』

- (1) 思いやりの心を大切にし、生き抜く力のある生徒の育成
- (2) 自ら目標を持ち、進んで学び、自ら考え、正しい判断ができる生徒の育成
- (3) 心身ともに健やかな生徒の育成
- (4) 人間の尊厳を重んじ、人権を考える生徒の育成
- (5) 勤労を貴び、郷土を愛する生徒の育成

【日野中学校の一朝一徳】

- 『み』…身なりや服装を整える
- 『そ』…掃除を進んで行う（ゴミ拾い）
- 『あ』…あいさつを進んで行う
- 『じ』…時間を守る



2 実践内容

(1) 部活動の活躍

本校では、開校当時から各部活動において、佐世保市内はもとより長崎県大会・九州大会さらには、全国大会において優秀な実績を収めている。

今年度も、例年に見劣りすることなく様々な部活動で優秀な成績を残してくれた。

佐世保市中体連を突破し、県大会へ駒を進めた部活動は3団体を数えた。夏季大会においては、女子ソフトボール部、軟式野球部、男子バスケットボール部の3団体が出場した。

また、個人戦においても新体操部・体操部・水泳部が県大会へ出場し日野中学校運動部活動の底力を見せてくれた。

中でも今年度特筆すべきは、軟式野球部の活躍である。昨年度末に全国大会出場という実績を残したが、その勢いはとどまるところを知らず、県内大会・九州大会でも無敗を誇り、8月に神奈川県横浜市で行われた全国少年軟式野球大会においては、見事『準優勝』という快挙を成し遂げた。



尚、今年度は十八銀行日野支店様に協力していただき、県大会・九州大会・全国大会出場については、横断幕を作成し、十八銀行駐車場のフェンスに掲示させていただいている。

(2) TAISUKE氏講演&パフォーマンス「ようこそ先輩」



(TAISUKE 氏)

本校卒業生で、現在ブレイクダンサーとして日本はもとより、世界で活躍している「TAISUKE」氏が来校、講演と世界一といわれるパフォーマンスを生徒の目の前で披露してくれた。ただ、ダンスを披露するだけではなく、生徒と一緒にダンスを楽しみ、ダンスバトルにも応じてくれた。講演の最後には、生徒たちに「常にチャレンジャーでいなさい。頂点に立っても常に学び続けなさい。やってみて追求し続けて、初めて分かる事もあります。何かを始める時にやる前から絶対に出来ないと考えることは、自分にはありません。人間はやれば出来ます。」という力強いメッセージをいただいた。

(3) 「JRC加盟更新式」「性教育講演会」「デートDV防止教室」



日本赤十字社長崎支部より、3名の方に来ていただき、JRC加盟更新式を実施した。その後、「いのちの大切さ」という演題で講演をいただいた。「命を見つめる強調月間」中のことでもあり、JRC活動の基本理念及び活動方針の再確認とともに「いのち」について考える良い機会となった。

第3学年及び保護者・地域の方を対象に、「中村まりこ」先生による「性教育講演会」を実施した。昨年度の続き2回目の講演会となったが、生徒は、真剣な表情で話に聞き入った。

また講演会の後には、中村先生を囲んで、保護者対象に「座談会」を開き、子育てをはじめ、最近の子供たちとの接し方など、保護者の悩みにたくさんのアドバイスをいただき、有意義な時間となった。

この「性教育講演会」は、毎年定期的に行ってほしいという、保護者からの要望が出され、次年度以降も開催していくことが確認された。



(中村まりこ 氏)

(デートDVワークショップ)



「デートDV防止教室」と銘打って、講演会(ワークショップ)を実施しました。この講演会も、昨年度に引き続き、今回で2年連続2回目となりました。

前回は、相浦公民館にご協力いただき開催にこぎつけましたが、今回は、佐世保市男女共同参画推進センター「スビカ」をとおして依頼し、開催する運びとなりました。

講師は、「DV防止ながさき」より2名の方に来ていただきました。DVの基礎知識から、男女間によるデートDVについて、分かりやすく説明していただきました。

また、ワークショップでは、「Iメッセージ」と「Y ouメッセージ」について、実際に男女間で起こりうるであろう場面を想定しながら、楽しく学習することができました。

(4) 「親父の会」主体から「P T A」主体に ～Thanks clean up Day～



昨年度まで実施していた「親父の会」主催による校内美化活動を、今年度より「P T A」主催として、名称も“Thanks clean up Day”と変更し、8月23日(日)に実施した。今回は、正面玄関前にあるオブジェの清掃活動をメイン作業とし、例年どおり、ウッドデッキ・パティオの塗装をはじめ、校舎内廊下・渡り廊下のワックスがけを行った。

参加者は、保護者・生徒・地域の方々(健全育成会・民生委員等)・職員に加え県立大学のボランティアグループにも協力していただき、

総勢103名での活動となった。生徒に関しては、活動母体を部活動とすることで、競い合うように清掃活動に取り組んでいた。天候にも恵まれ、さわやかな汗を流しながら、老若男女、協力して学校の顔である玄関付近をきれいに磨き上げることができた。参加していただいた皆さんに感謝します。

(5) 地域行事への参加



11月29日(日)薄曇りの中、日野中学校区健全育成会主催による「ひのさるく」が、2年ぶりに開催された。日野中学校を起点として日野中学校区を歩いて散策する、ウォークラリー形式での開催であった。大谷(おおたに)地区を中心にコースを設定したが、校区内でありながらも、「こんな場所があったのか」「へえ～、この道はここへ通じているのか」などという新しい発見に一喜一憂しながら楽しくウォーキングすることができた。

幼児から大人まで、約200名の参加であった。

吹奏楽部も毎年積極的に地域の行事へ参加している。11月13日(土)・14日(日)に開催された「相浦地区公民館まつり」、12月5日(土)に開催された「相浦地区防犯パレード」に参加し、日ごろの練習の成果を、地域の方々にも見てもらうことができた。

また「相浦地区防犯パレード」においては、パレードの先導を務め、相浦陸上競技場をスタートし、マルキョウまでの約40分間を、演奏しながら歩き、交通安全や防犯について呼びかけた。



(6) 学校カレンダー作成

毎年、保護者・地域の方に好評いただいている「学校カレンダー（平成27年度版）」を今年度も作成し配布した。

各月に本校の行事予定を印刷したものに、平成26年度の子供たちの取組の様子を写真で紹介したものを作成している。

保護者や地域の方にとっては、学校の行事予定等が分かり、年間の計画が立てやすくなる。また、学校カレンダーの配布は、学校行事への保護者・地域の方の参加者増加につながっている。



(7) 保健指導について



左の写真は、長崎県保健会からいただいた『よい歯の学校：努力校』の賞状である。養護教諭を中心とした日野中学校の取組が認められた結果である。

この他にも今年度は、長崎県教育委員会より『学校安全推進学校：努力校』及び『学校保健推進学校：優良校』、佐世保市教育委員会・佐世保市学校保健会より『学校保健推進校』の表彰を受けた。

具体的な取組の一例として、本校独自の「日野カード」（養護教諭作成）により、生徒一人一人に健康目標を設定させ、一年をとおして自分の健康に向き合わせさせるようにした。また、定期の歯科検診後に、

ブラッシング指導や臨時の歯科検診（定期の歯科検診で要観察・要注意を受けた生徒）を行い、歯の健康について全校を上げて取り組んだことがあげられる。

(8) 図書ボランティアの活動

(読み聞かせ活動)



開校時より続けられている図書ボランティア活動の一例である。「読み聞かせ」については、一月に一回、二学年ずつ、「ディスプレイ」は、季節が変わる毎に変更されている。図書担当教諭を中心に、学校図書館司書、図書ボランティアの皆さんが協力し

(季節毎のディスプレイ)



ながら取り組んでいる。本校の特徴の一つである、オープンスペース形式の図書室を有効に活用することで、図書の貸し出し冊数も目標を突破するほど伸びている。

3 成果と課題

この紙面では紹介できなかった活動が他にもたくさんある。部活動では、美術部の活動が目覚ましい、子ども県展をはじめ、各種コンクール等で優秀な成績を収めている。学校自体が落ち着いており、生徒たちが各活動に集中して取り組んでいる結果であろう。

ただし、この結果は、学校だけの力によるものではないことは言うまでもない。生徒が頑張り、教師が指導する。そこに保護者や地域の支援が加わり、四者の相乗効果としての結果である。今後も、生徒の活動を認め、誉め、励まし、学校・地域が一丸となって取り組んでいくことで更に教育効果が上がるものと思われる。